

## 交通弱者の足として活躍する福祉バスの現状と課題

乙津 豊彦 議員

質問 福祉バスの本格運用から2年半を経過し、登録者、利用者も順調に伸びているが、問題点はあるか。また、運行に関する評価、見直しの時期について、計画はあるか。

市長 福祉バスの乗車人数は増加しており、高齢化率の増加とともに、利用者の増加傾向は続いていくものと思われる。課題としては、午前便と午後便によって乗車率にばらつきがあることや、コースにより停留所の数に差異があるため乗り継ぎが難しいことなどが

挙げられる。平成25年度中に、運行コースや運行時間、便数などを検証する計画である。



▲福祉バス（熊川コースもくせい号）

# 一般質問 (要旨)

## 市政のここが聞きたい

今定例会では、18人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし3ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、2月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

## 税外収入の確保と安全安心の取り組みについて

青海 俊伯 議員

質問 公共施設の自動販売機の契約見直しによる税外収入の確保と、AEDや緊急情報通知機能付き自動販売機の設置について、どう考えるか。

市長 平成25年度中に、公共施設の自動販売機はすべて契約を見直し、使用料と売上高に一定乗率を掛ける形で使用料収入を確保する。

また、更新時期を迎えるAEDもあることから、AED設置型、災害対応型など、緊急時にも対応できる機能性を重視した自動販売

機を設置していきたい。



▲AED設置型自動販売機

## スポーツ祭東京2013本大会に向けた市の取り組みは

申田 金八 議員

質問 平成25年の国民体育大会では、リハーサル大会の経験を生かし、市を挙げて大会を成功させる必要があるが、その方策について伺いたい。

市長 ポロシャツやポスターなど、さまざまなグッズを使ったり、「ゆりーと」と共に各種イベントに参加するなどして、国体のPRを行っている。平成24年度中に市内要所に国体PRラッピングシール等を施し、大会周知、開催気運の向上を図っていく。また、2会場の運営に対応できる職員を配

置し、多くのボランティアや協力団体のお力添えをいただいて、盤石な運営体制で臨みたい。



▲各種イベントでPRするゆりーと

## 脳を活性化させて学習の成果を上げる脳活学習の導入を

清水 義朋 議員

質問 岐阜県多治見市の全小・中学校で、朝学習の時間を利用して、タブレット端末などのICT機器を活用した脳活学習が行われているが、本市においてもこれを導入することはできないか。

教育長 平成23年度から、実物投影機やワイヤレス・ペンタブレット、授業用ノート型パソコン等を、各小・中学校に段階的に配備しており、活用事例も見られている。今後、朝学習において脳の活性化と集中力を養い、児童・生徒に基礎的・基本的な学力を定着

させるためのICT機器の活用についても研究していきたい。



▲脳活学習の様子（多治見市）

## 地域社会を支える町会、自治会の現状について

田村 正秋 議員

質問 町会、自治会は、地域社会を支える大変重要な存在であり、最近、その役割が再認識されているが、町会、自治会の活性化と加入率についてどのようにとらえているか。

市長 東日本大震災をきっかけに、普段からの地域住民同士の交流は重要なことであると私も認識しており、その役割は以前にも増して重要となっている。平成24年10月現在の加入状況は1万1,791世帯で、前年度比実質0.4ポイント減少している。今後も交付

金を活用して、町会、自治会の加入率の向上、活性化に引き続き取り組んでいきたい。



▲町会の一大行事である夏祭り

## 多摩川の河床を低くするためのしゅんせつの予定は

杉山 行男 議員

質問 多摩川の河床が高いので低くしてほしいとの要望が以前からあるが、しゅんせつの予定はあるか。

市長 多摩川沿いの17区市で構成する多摩川整備促進協議会を通じて、毎年国へ要望を行っている。その中で、全国屈指の都市河川である多摩川の治水・洪水対策の重要性を訴え、洪水時の安全な流れの確保を強く要望している。また、自然再生の取り組みとして、多摩川本来の河原を復元するために、流れを阻害している樹木の伐

採や土砂の除去を行っているが、これにより結果として河床が少し下がることになる。



▲南田園地区で行われている護岸工事

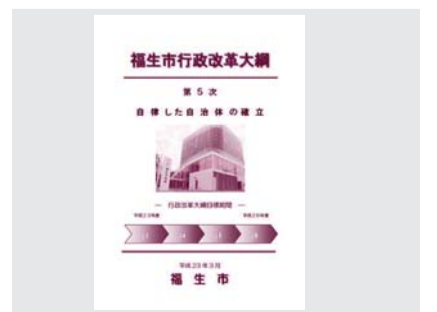
## 将来に負担をかけない財政の健全化方策は

柳川 英司 議員

質問 住民サービスの提供やまちづくりを将来にわたって担っていくためには、より一層の行財政基盤の充実が必要であるが、将来に負担をかけないように、財政の健全化をどのように推進していくのか。

市長 今後も一般財源の増加が見込めない状況を考慮すると、市民ニーズや時代に合わない事業などは聖域なく見直すことが必要となる。このような現状と課題を踏まえ、第5次行政改革大綱に基づき、自律性の高い財政運営や基礎

的財政収支を赤字にしない財政運営を行い、今後も財政運営の健全化を目指していく。



▲第5次行政改革大綱